

JR福知山線脱線事故から8年 現地追悼行動 JR西労集會に参加



4月25日に福知山線脱線事故から8年を迎えました。JR西労が主催する追悼行動と集會に参加しました。当日の朝、JR西労の仲間と共に事故現場に行き、事故が発生した9時18分に黙とうを捧げました。当該時刻に現場を走行する列車が長い汽笛を鳴らし通過しました。黙とうを捧げながら、「なぜ、何の罪もない方々が企業の利益の為に命を落とさなければならぬのか。」悔しくて涙が出てきました。この事故が起こったために亡くなった109名の御霊に「安全な鉄道会社をつくるため私

ちはたたかい続けます。」と誓いました。あらためて事故の大きさとJR西日本会社の「安全より営利優先」の企業体質、経営の過ちの大きさを実感しました。

JR西日本の企業体質は変わらず（怒）！！

JR西労が主催する、事故の経営責任追及！「営利優先・運行第一・社員への責任追及・労使癒着」の不安全な企業体質を一新する集會が開催され、東海地本、関西地本、九州地本の仲間と共に参加しました。JR西労・田村委員長は「いまだに会社は犠牲となった運転士を殉職者扱いしていない。経営体質は変わっておらず、企業体質一新、安全確立の申し入れをした。安心して頂ける鉄道をつくる」と、この間の闘争報告が行われました。ご遺族からは、「事故を風



化させない為にこのような大きな集會を行っており、嬉しく思う。歴代3社長は子どもでも分かる嘘をつき自分の都合の悪い事は「知らない、記憶にない」とごまかしている。法廷だからこそ全てを言ってほしい。と思いを語って頂きました。集會には490名のJR総連各単組の仲間と来賓やご遺族が参加しました。今後もJR西労の仲間と共に真の安全確立に向けてたたかっていきます！